

「ウランと環境研究プラットフォーム」では、研究開発計画や成果について、開かれた場で説明するとともに、地域の皆様との双方向コミュニケーションを通じて、研究開発の信頼性・透明性を確保します。

- ✓ 専門家による技術的な評価（計画や研究成果等の評価）
- ✓ 地域住民等との懇話会
- ✓ 「ウランと環境研究プラットフォーム」に係る計画、研究成果報告会
- ✓ 「ウランと環境研究プラットフォーム」をテーマとしたシンポジウム等
- ✓ 一般市民等を対象とした施設見学
- ✓ 自治体等への出前説明会



人形峠環境技術センターを見にきませんか

人形峠環境技術センターでは、研究施設などを見学いただけます。費用は掛かりません（人形峠までの交通手段は各自で確保してください）

お気軽にお申し込みください。



出前説明会へお伺いいたします

人形峠環境技術センターでは、職員等が職場や地域などのグループへ出向き、エネルギーと環境保全について紹介する「エネルギーと環境保全」や、放射線の疑問について紹介する「放射線って知っていますか」、人形峠環境技術センターの仕事について紹介する「人形峠のこれから」などの出前説明会を開催しています。

原則として費用はいただきません。会場はお申し込みされる団体のほうでご準備ください。



お問い合わせ先：人形峠環境技術センター総務課
TEL.0868-44-2211（代表）
URL <https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/>



人形峠環境技術センターからの お知らせ【これから編】 (vol.1)

いま、人形峠環境技術センターでどのような業務を行っているのか、よく分からないという声を聞きます。このため鏡野町さんのご協力をいただき、不定期ではありますが、「お知らせ」として事業所の状況をお伝えさせていただきます。

第1回目として、人形峠環境技術センターの「これから編」をお届けいたします。

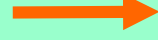


国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センターの解決すべき
安全性を高める課題と取り組み

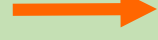
「人形峠センターの安全性をより高め、地域の皆さまが安心して暮らし続けられる環境づくり」とは、人形峠センターを元の自然に戻すこと。この我が国初の取り組みを実現するために3つの研究課題に取り組みます。

鉱山の閉山措置



危害や鉱害が発生しないこと、放射線が周囲に影響しないよう、整形や覆土による鉱山施設の閉山措置などについて、長期的な安全性研究を加速します。

減損ウラン対策



現在、安全に密閉管理している減損ウラン等（六フッ化ウランの化学形態）ですが、空気中の水分と反応するとフッ化水素（有毒）を発生させることから、有効利用や安定化等にかかる研究開発に取り組みます。

ウラン廃棄物対策



現在、人形峠センターにあるウラン廃棄物を用いて、ウラン廃棄物の処理・処分に道筋をつける研究を行います。
【環境研究】 地表や浅い地中でウラン等がどのように移動しているのかを研究します。
【ウラン廃棄物工学研究】 ウラン廃棄物を安全で合理的に処分するために必要な処理技術を確認します。

【ウラン廃棄物対策で行う埋設試験施設を使った研究を進めるにあたって】

- 地域住民や専門家で構成される「ウランと環境研究懇話会」*では、人形峠環境技術センターが、施設の安全対策を講じてリスクの低減や環境保全に取り組むといった、将来にわたって与えられた役割を着実かつ安全に果たすためには、ウランと環境研究プラットフォーム構想に示された研究開発を着実に進めることが適切であるとの認識が取りまとめられました。
- 埋設試験施設を使った研究は、**環境研究**と**ウラン廃棄物工学研究**の成果を検証する試験です。
- 国が制定するウラン廃棄物を埋設するための規制制度の整備が整ってから詳細に検討を行います。
- この研究の実施は地域の皆さまのご理解が得られることが前提ですので、説明会の開催や情報公開を進めます。
- 埋設試験施設が環境の変化から受ける影響や環境へ及ぼす影響を調べます。
- 周辺環境への影響がないことを事前に評価するとともに、環境放射線を監視します。
- 当試験はウラン廃棄物の最終処分ではないこと及び、人形峠環境技術センター内で保管されている放射性廃棄物のみを対象とします。

* 「ウランと環境研究懇話会」の活動については、当センターのホームページをご参照ください。